

第54回 県記録会 兼 国体選考会

1. 主 催 一般財団法人 山梨陸上競技協会
2. 主 管 一般財団法人 山梨陸上競技協会
3. 期 日 2023年 4月 9日 (日) 競技開始 9時30分 (開場7時30分)
4. 会 場 J I T リサイクルインク スタジアム・補助競技場
5. 競技種目 100m 200m 400m 800m 100mH(中学0.762m/8.0mと高校一般は0.838m/8.5mのみ)
110mH(中学と高校一般は1.067mのみ) 400mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
円盤投(男子は一般2.0kgと高校は1.75kgのみ)
ハンマー投(男子は一般7.26kgと高校は6.0kgのみ)
6. 競技規定 2023年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項による。
7. 参加資格 日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。この競技会における成績は、国体の山梨県代表選手選考のための資料となる。そのため、山梨県代表選手の選考に関係なく本競技会への出場を希望する者は、エントリー時に山梨県代表選手の選考対象ではないことを明示し、山梨県の国体選考会には参加していないことを明らかにすること。
8. 参加制限 1人何種目でも可とする。ただし、競技種目によっては、タイムレースの可能性があるので **2022年度**の公認最高記録を必ず申込時に入力すること。公認記録がない場合は空欄とする。その場合は上位の組には入れない。また、公認記録を偽って入力したことが発覚した場合、本大会に参加することはできず、参加料も返金しない。
コロナ感染等の防止対策については、居住地の感染拡大防止対策に従うこと。その上で、山梨陸協の対策に同意、実行できる競技者のみとする。※山梨県もしくは全国の感染状況によっては、大会の中止や上記参加資格以外に参加制限を設ける可能性もあるので、大会申込者は申込時から大会直前まで山梨陸協HPを随時確認すること。
9. 参加申込 山梨陸協のホームページで確認すること。
問合せ先 一般財団法人 山梨陸上競技協会 〒400-0024 山梨県甲府市北口2-5-5 アネックスIII
TEL/FAX 055-251-4581 メールアドレス rikukyo@yamanashi.email.ne.jp
申込〆切 **3月23日(木) 17時**
10. 参加料 個人種目は、1人1種目600円(中学生)、800円(高校生)、1200円(一般)とする。
リレーは、1種目1700円(中学生)、2200円(高校生、一般)とする。
11. 新型コロナウイルス感染症防止対策 山梨陸協HPに掲載している対策マニュアルに従って競技会を運営する。参加申込者においても事前に記載内容を確認し、各チーム・個人において参加上のルールやマナーを遵守すること。
12. その他 トラック競技は、エントリー数によってはタイムレースになる場合がある。
ハードル種目は、中学、高校、一般と上記の規定通りにエントリーすること。
走幅跳、三段跳はエントリー数によってはトップ8なしの場合がある。
投てき種目も、高校、一般と規定通りにエントリーすること。
アスリートビブスは前年度(2022年度)登録のものを使用すること。
ただし、山梨県の高校生は新年度登録のものを使用する。

4/9(日) 県記録会 競技日程

◇トラック競技

1	女子	100m	予選	52	7組	9:30
2	男子	100m	予選	125	16組	9:55
3	女子	400mH	TR	9	2組	11:00
4	男子	400mH	TR	21	3組	11:20
5	女子	100m	決勝	8	1組	11:40
6	男子	100m	決勝	16	2組	11:50
7	中学女子	100mH	決勝	4		12:10
8	女子	100mH	TR	13	2組	12:20
9	中学男子	110mH	決勝	1		12:30
10	男子	110mH	TR	12	2組	12:40
11	女子	200m	TR	27	4組	13:00
12	男子	200m	TR	42	6組	13:20
13	女子	400m	TR	30	4組	14:10
14	男子	400m	TR	44	6組	14:30
15	女子	800m	TR	32	4組	15:00
16	男子	800m	TR	53	7組	15:30
17	女子	4×100mR	TR	14	2組	16:20
18	男子	4×100mR	TR	19	3組	16:35

◇フィールド競技

跳 躍

1	女子	棒高跳	決勝	4		9:30
2	男子	棒高跳	決勝	13		9:30
3	女子	三段跳	決勝	17	TOP8なし	9:30
4	男子	走高跳	決勝	27		9:30
5	女子	走高跳	決勝	13		11:00
6	男子	三段跳	決勝	23	TOP8なし	11:00
7	女子	走幅跳	決勝	39	TOP8なし	12:30
8	男子	走幅跳	決勝	45	TOP8なし	14:30

投てき

1	女子	円盤投	決勝	27	TOP8あり	10:00
2	男子	円盤投	決勝	3	TOP8あり	11:30
3	高校男子	円盤投	決勝	22	TOP8あり	11:30
4	女子	ハンマー投	決勝	9	TOP8あり	14:00
5	男子	ハンマー投	決勝	3	TOP8あり	14:00
6	高校男子	ハンマー投	決勝	11	TOP8あり	14:00

県記録会 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2023年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

練習は競技役員の指示に従って実施すること。特に投てき練習については、監督の付き添いのもと、危険防止に努めること。

メインスタンド下の雨天走路は走幅跳・三段跳の待機場所として使用するため、使用禁止とする。

バックスタンド下の走路は練習場所として解放するが、混雑時は注意して使用すること。テント・シートの設置等、待機場所としての使用は禁止とする。

3 招集について

(1)トラック競技の招集所は100mスタート地点の器具庫付近に設ける。フィールド競技の招集は全て現地とするが、必ず招集所を通過して競技場内に入ること。

(2)各種目の招集時刻は、以下の通りとする。密を避けるため、招集時刻の5分以上前に来ることは、禁止とする。なるべく時間に合わせ、遅れずに集合すること。

全てのトラック競技	1～4組	競技開始15分前
	5～8組	競技開始5分前
	9～12組	競技開始5分後
	13～16組	競技開始20分後
4×100mR	1組	競技開始20分前
	2組	競技開始15分前
	3組	競技開始10分前
フィールド競技	全種目	競技開始40分前

(3)招集の方法については次の通りである。

- ①招集時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・商標の点検を受ける。トラック競技のみレーンナンバーカードを受け取る。
- ②招集は必ず本人が行うこと。但し、出場する競技の時間が重なる場合には、必ず「二種目同時出場届出用紙」を招集所に提出し、当該競技の審判にもその旨を申し出て、指示に従うこと。
- ③全ての競技種目において、棄権する場合は招集所に棄権届を提出する。
- ④招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。

4 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

(1)トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技試技順は、プログラム記載番号順とする。

(2)トラック競技の決勝のレーン順は、番組編成板に掲示する。

(3)決勝に進む選手をタイムで決定する場合、同記録があってレーン数が不足するときは、同記録者の判定写真を拡大し、細部まで読み取り、着差の判定をする。それでも判定できない場合は抽選を行う。

5 競技について

(1) トラック競技について

- ① 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- ② 100m・100mH・110mH以外のトラック種目のゴール後は、そのまま左回りで競技場内の走路とスタンドの間を歩き、所定のゲートより退場すること。この時、同じ組の選手たちと1～2mの距離を空けて縦に並んで歩き、会話や接触等がないようにすること。

(2) フィールド競技について

- ① 競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 砲丸投を除く投てき競技の計測は、すべて光波測定器を使用する。
- ③ 携帯電話等、競技規則144条3（b）に関わる機器は競技場内に持ち込むことはできない。
- ④ 各フィールド競技種目の競技開始後は、原則としてその競技場所は変更しない。
ただし、棒高跳については天候により審判長が危険と判断した場合は競技場所の変更や競技日の延期をする場合がある。
- ⑤ 走幅跳・三段跳の試技は3本とし、トップ8の試技は行わない。
- ⑥ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝者が決まるまで次の通りとする。ただし、当日の気象状況により変更する場合がある。

種目	練習	1	2	3	4	・・・	—	以降の上げ方
男子 走高跳	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	・・・	1m95	1m95 以降は優勝者が決まるまで3cmずつ上げる。
女子 走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	・・・	1m55	1m55 以降は勝者が決まるまで3cmずつ上げる。
男子 棒高跳	2m20	2m20	2m40	2m60	2m80	・・・	3m40	3m40 以降は優勝者が決まるまで10cmずつ上げる。
女子 棒高跳	2m00	2m00	2m10	2m20	2m30	・・・	3m40	3m40 以降も優勝者が決まるまで10cmずつ上げる。

6 競技用具について

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

(2) ハードルの高さインターバルは、次の通りである。

		一般	中学
男子110mH	高さ	1.067m	0.914m
	インターバル	9.14m	9.14m

		一般	中学
女子100mH	高さ	0.838m	0.762m
	インターバル	8.50m	8.00m

(3) 投てき物の重量は、次の通りである。

	一般男子	高校男子	一般高校女子
円盤	2.0kg	1.75kg	1.0kg
ハンマー	7.26kg	6.0kg	4.0kg

7 抗議・上訴について

(1) 競技中に起きた競技者の行為・順位に関する抗議は、競技規則146条により、結果の正式発表後、30分以内に、また次のラウンドが行われる種目については15分以内に、本人又は監督から審判長に対して口頭で申し出る。受付は大会本部とする。

(2) 審判長の裁定に不服がある場合は、30分以内（次のラウンドが行われる種目については15分以内に、担当総務員を通して、上訴審判員に預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は、担当総務員が準備する。

8 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、先端が鋭利なものは使用できない。

厚底シューズに関する規程については以下のとおりである。

種目	最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。(40mm)

9 一般的注意事項

- (1) リレーオーダー用紙は招集所にて配布し、招集所を提出場所とする。
- (2) 商標の大きさについては、競技規則「競技会における広告及び展示物に関する規程」を適用する。
 - ①上半身の衣類（シャツ・レオタード等）
製造会社名/ロゴ：文字の高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積30cm²以内の長方形（トレーニングウェアやTシャツは文字の高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm、面積40cm²以内の長方形）とする。表示は1ヶ所のみとする。
 - ②下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等）
製造会社名/ロゴ：高さ4cm以内、面積20cm²以内のもの（ソックスは高さ2.5cm以内、面積5cm²以内）を1ヶ所表示できる。
 - ③バッグ 製造会社名/ロゴ：25cm²以内のものを2ヶ所まで表示することができる。
 - ④帽子・手袋 製造会社名/ロゴ等：6cm²以内のものが1ヶ所とする。
- (3) 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・傷害に対するの応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (4) 横断幕等は、スタンドの最上部のみ掲出を認める。のぼり旗等も同様とする。スタンドにテントを張ったり、シートなどを敷いて場所を取ったりすることは禁止する。
- (5) 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。拾得物については、TICにて保管する。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は、受付に300円を添えて申し込むこと。

10 感染症対策について

本大会における感染症対策については山梨陸協HPに掲載しているマニュアルに基づいて行う。各所属・各個人において熟読し、ルールを守り、マナーある行動をしていただきますようお願いいたします。